

会 計		介護保険特別会計														
施策の大綱	まちづくりの目標(章)			施策分野(節)			施 策									
	第2章 共生共感都市			04 高齢者福祉			02 健やかで安心できる暮らしを支援する									
	事業：家族介護支援事業										整理番号	1180				
目 的	要介護者の状態の維持・改善や家族の心身の負担軽減を目的とする。															
目 標	家族介護者を支援する教室の開催や認知症についての啓発をおこない、引き続き家族介護者を支援する。															
事業費・財源	事業費（決算額）（千円）		1,077		コスト情報・評価	総コスト（千円）		3,458		総合評価 B 評価理由	妥当性		B			
	財源内訳	一般財源		411		内訳	事業費		1,077		効率性		A			
		国府支出金		666			人件費		2,381		有効性		B			
		地方債		0			公債費		0		認知症高齢者や家族への支援について検討が必要である。					
		その他特定財源		0			一人あたり（円）		31							
							世帯あたり（円）		73							
	貢献度	施策に対する事業貢献度		A		根拠	講演会及び教室開催により家族介護者の心身の負担軽減になっている									
今後の方向性	引き続き講演会及び教室等の開催を継続しておこなう。															

事業優先順位		1	細事業:家族介護支援事業				整理番号	01			
目的		要介護者の状態の維持・改善や家族介護者の心身の負担軽減を目的とする。									
目標		引き続き地域包括支援センターへ委託し、家族介護者の心身負担を軽減できるように、学び集える場を維持する。									
事業実施主体		委託	事業開始年度	平成18年度	根拠法令	介護保険法					
事業費・財源	財源内訳	事業費(決算額)(千円)		平成24年度	比較	コスト情報・従事職員数	総コスト(千円)		平成24年度	比較	
		一般財源		315			内訳	事業費		712	
		国府支出金		120				人件費		315	
		地方債		195				公債費		397	
		その他特定財源		0				一人あたり(円)		0	
				0			世帯あたり(円)		6		
				0			職員数(人)		15		
				0			再任用職員数(人)		0.05		
				0					0.00		
		今後の方向性		今後とも地域包括支援センターに委託し、「いきいき介護教室」の開催を継続する。							
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	本市に住所を有する者で、家族の介護をしている者						
	A	A	B								

事業：家族介護支援事業

1. 家族介護支援事業

家族介護者教室の開催や認知症についての啓発を行って家族の負担の軽減に努めた。

細事業：家族介護支援事業

1. 家族介護支援事業

家族介護者の精神的負担を軽減し、心身の健康を保持することで虐待等を未然に防ぐとともに、良好な介護環境を保ち在宅介護が維持できるように、地域包括支援センターに事業委託し、毎月1回保健センターにて、介護技術の習得や腰痛予防体操及び交流会等をおこなう「いきいき介護教室」を、家族介護者を対象として開催した。また、各地域にて家族介護者の交流会を目的とした「ミニサロン」を開催した。

【いきいき介護教室】

開催回数 12回 参加者延べ人数 140人

【ミニサロン】

開催回数 7回 参加者延べ人数 40人

※いきいき介護教室及びミニサロンの開催内容をまとめた「いきいき通信」を毎回発行し、家族介護者等に配布した。



いきいき通信